

特集・台湾



台中市と三儀 魅力を再発見

心を和ませるスポットが 文化と自然の中に息づく

台中市

台中市に位置する台中市は、台湾中部の都市。面積は163.4平方キロ、人口は約106万人。美しい湖が広がるリゾート地の日月潭をはじめ中部エリア観光の拠点となる街だ。緑豊かな文化都市で、台湾の人々では住みやすい街として知られている。

台中市のシンボルと言えは台中公園。日本統治時代の1903年10月に開園した15ヘクタールの広大な公園。「日」「月」の形になぞらえた池がある。垂れ幕の木々は鳥たちが集まり、市民の憩いの場になっている。旅行者が訪れてもなびりたじろむ時が過ぎる。この台中公園は、日本とのゆかりが深い。池の中にある東屋を「湖心亭」と言。1908年、縦貫鉄道全通の祝賀大会が公園内で開かれた際、日本の閣院宮内親王の視察場所として建てられたものだ。当時は「池亭」と呼ばれた。土台をレンガで内部の床は板敷き、カーペットを敷いた。屋根は特徴だ。市政府から史跡に指定され、2006、07年にかけて修復が行われた。

また、日本統治時代、台中公園内には「台中神社」が建てられていた。現在でも、石造りの鳥居の一部が残った状態で保存されている。見学することが出来る。

1928年に開かれた寶覺寺には、高さ約30メートルに達する「弥勒大仏」がある。この大仏は七福神の布袋様の姿をしている。寺内には、日本統治時代に台湾中部で亡くなった日本人1万4千人の遺骨の安置所があり、日本人も多く訪れている。また、太平洋戦争で亡くなった台湾の人々を慰霊する碑もあって、李登輝元総統の手により「靈安故郷」の言葉が記されている。見学には拝観料などはない。

台湾の茶芸に触れ、食事も満喫できるのが茶芸館。台湾各地にあるが、台中市内では老舗「無為草堂」が有名。閑静な約400坪の敷地にノスタルジックな造り、階建て母屋、東屋、中庭、池が配してあり、風情がある。水、土間の夜には音楽の生演奏も行われる。茶芸には、茶道具の使い方、湯の注ぎ方、香りの味わいなどが

苗栗県は台湾の中部北側に位置し、山地が多く、「山城」という美しい呼称もある。面積は1820平方キロ。北と東は新竹県に接し、南と東は大安渓を隔てて雪山山脈と台中県に接する。苗栗の三義郷は、森林資源が豊富で、現在は木彫り工芸の町として知られている。また、三義は「客家」(ハッカ)の人々が多く暮らす地域の1つだ。客家とは、漢民族から分枝した民の呼称で、独自の生活様式や客家家料理(客家腸粉)を持ち、地域文化の特色を際立たせている。

苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

苗栗桐花祭は今年で9年目。アブラギリが多い地域は客家が暮らす「客家の里」と重なることから、客家の名を冠している。今年、各客家委員会主催の大規模なイベントは、4月17日、苗栗市ヤングリラ楽園、同24日、新竹県神農園、森林リゾート村、同25日、桃園龍潭龍潭植物園、5月1日、桃園大溪花海農場などで行われる。

客家桐花祭 http://www.kg.gov.tw (日本語ページあり)

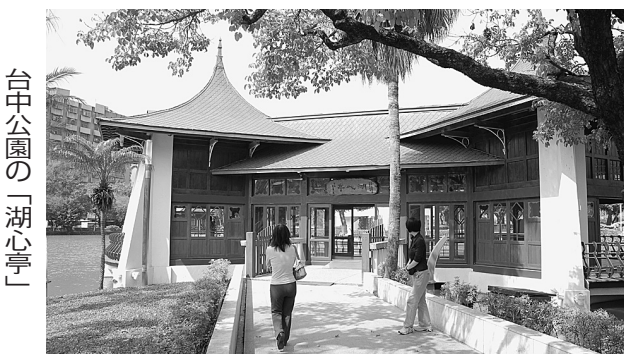
苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。



「5月の雪」と呼ばれるアブラギリの舞い散る道



寶覺寺の弥勒大仏



台中市内の老舗茶芸館「無為草堂」



台中市内の老舗茶芸館「無為草堂」



おアブラギリのカフェ



おアブラギリのカフェ

苗栗県は台湾の中部北側に位置し、山地が多く、「山城」という美しい呼称もある。面積は1820平方キロ。北と東は新竹県に接し、南と東は大安渓を隔てて雪山山脈と台中県に接する。苗栗の三義郷は、森林資源が豊富で、現在は木彫り工芸の町として知られている。また、三義は「客家」(ハッカ)の人々が多く暮らす地域の1つだ。客家とは、漢民族から分枝した民の呼称で、独自の生活様式や客家家料理(客家腸粉)を持ち、地域文化の特色を際立たせている。



1995年4月にオープンした三義木彫博物館(写真左)。現代アートから先住民の木彫りまで展示内容は幅広い



1995年4月にオープンした三義木彫博物館(写真左)。現代アートから先住民の木彫りまで展示内容は幅広い

苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

苗栗桐花祭は今年で9年目。アブラギリが多い地域は客家が暮らす「客家の里」と重なることから、客家の名を冠している。今年、各客家委員会主催の大規模なイベントは、4月17日、苗栗市ヤングリラ楽園、同24日、新竹県神農園、森林リゾート村、同25日、桃園龍潭龍潭植物園、5月1日、桃園大溪花海農場などで行われる。

客家桐花祭 http://www.kg.gov.tw (日本語ページあり)

苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

散策コースもある。三義にアブラギリは、台湾と中国を結ぶ距離離恋を切なを描いた映画「五月の恋」(台湾・中国、2004年)のモチーフになり、ロケ地にもなっている。

人気の廃線駅 三義の観光スポットで台湾の人々に人気が高いのが、廃線駅の「勝興駅」。海抜約402メートルの地点にあり、かつて西部縦貫鉄道で最も高い地点にあり、歴史ある駅舎や錆びた線路がノスタルジックで、ケーブルと鉄道ファンで賑わう。

1906年に建設された「十六分信局」で1930年に駅に昇格。西部縦貫鉄道のルート変更に伴い98年に閉鎖しての使命は終えたが、観光スポットとして往時よりに変わっているとも言われる。勝興駅は、9つの虎の頭を似た山に囲まれており、虎舎の屋根には魔除けの矛が、つらさであるという。その様子も「鎮魂」と呼ばれている。

花舞う客家桐花祭 4〜5月に各地で 苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

苗栗桐花祭は今年で9年目。アブラギリが多い地域は客家が暮らす「客家の里」と重なることから、客家の名を冠している。今年、各客家委員会主催の大規模なイベントは、4月17日、苗栗市ヤングリラ楽園、同24日、新竹県神農園、森林リゾート村、同25日、桃園龍潭龍潭植物園、5月1日、桃園大溪花海農場などで行われる。

客家桐花祭 http://www.kg.gov.tw (日本語ページあり)

苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

苗栗桐花祭は今年で9年目。アブラギリが多い地域は客家が暮らす「客家の里」と重なることから、客家の名を冠している。今年、各客家委員会主催の大規模なイベントは、4月17日、苗栗市ヤングリラ楽園、同24日、新竹県神農園、森林リゾート村、同25日、桃園龍潭龍潭植物園、5月1日、桃園大溪花海農場などで行われる。

散策コースもある。三義にアブラギリは、台湾と中国を結ぶ距離離恋を切なを描いた映画「五月の恋」(台湾・中国、2004年)のモチーフになり、ロケ地にもなっている。

人気の廃線駅 三義の観光スポットで台湾の人々に人気が高いのが、廃線駅の「勝興駅」。海抜約402メートルの地点にあり、かつて西部縦貫鉄道で最も高い地点にあり、歴史ある駅舎や錆びた線路がノスタルジックで、ケーブルと鉄道ファンで賑わう。

1906年に建設された「十六分信局」で1930年に駅に昇格。西部縦貫鉄道のルート変更に伴い98年に閉鎖しての使命は終えたが、観光スポットとして往時よりに変わっているとも言われる。勝興駅は、9つの虎の頭を似た山に囲まれており、虎舎の屋根には魔除けの矛が、つらさであるという。その様子も「鎮魂」と呼ばれている。

花舞う客家桐花祭 4〜5月に各地で 苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

苗栗桐花祭は今年で9年目。アブラギリが多い地域は客家が暮らす「客家の里」と重なることから、客家の名を冠している。今年、各客家委員会主催の大規模なイベントは、4月17日、苗栗市ヤングリラ楽園、同24日、新竹県神農園、森林リゾート村、同25日、桃園龍潭龍潭植物園、5月1日、桃園大溪花海農場などで行われる。

客家桐花祭 http://www.kg.gov.tw (日本語ページあり)

苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

苗栗桐花祭は今年で9年目。アブラギリが多い地域は客家が暮らす「客家の里」と重なることから、客家の名を冠している。今年、各客家委員会主催の大規模なイベントは、4月17日、苗栗市ヤングリラ楽園、同24日、新竹県神農園、森林リゾート村、同25日、桃園龍潭龍潭植物園、5月1日、桃園大溪花海農場などで行われる。

散策コースもある。三義にアブラギリは、台湾と中国を結ぶ距離離恋を切なを描いた映画「五月の恋」(台湾・中国、2004年)のモチーフになり、ロケ地にもなっている。

人気の廃線駅 三義の観光スポットで台湾の人々に人気が高いのが、廃線駅の「勝興駅」。海抜約402メートルの地点にあり、かつて西部縦貫鉄道で最も高い地点にあり、歴史ある駅舎や錆びた線路がノスタルジックで、ケーブルと鉄道ファンで賑わう。

1906年に建設された「十六分信局」で1930年に駅に昇格。西部縦貫鉄道のルート変更に伴い98年に閉鎖しての使命は終えたが、観光スポットとして往時よりに変わっているとも言われる。勝興駅は、9つの虎の頭を似た山に囲まれており、虎舎の屋根には魔除けの矛が、つらさであるという。その様子も「鎮魂」と呼ばれている。

花舞う客家桐花祭 4〜5月に各地で 苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

苗栗桐花祭は今年で9年目。アブラギリが多い地域は客家が暮らす「客家の里」と重なることから、客家の名を冠している。今年、各客家委員会主催の大規模なイベントは、4月17日、苗栗市ヤングリラ楽園、同24日、新竹県神農園、森林リゾート村、同25日、桃園龍潭龍潭植物園、5月1日、桃園大溪花海農場などで行われる。

客家桐花祭 http://www.kg.gov.tw (日本語ページあり)

苗栗県三義郷をはじめ、台北、桃園、新竹、台中などアブラギリが多い台湾北部、中部を中心とする地域では、4〜5月にかけて「客家桐花祭」(主催：行政院客家委員会)という大規模なイベントが各地で行われる。アブラギリをモチーフに、音楽や舞踊の上演、食の魅力を楽しむ多彩な内容だ。

苗栗桐花祭は今年で9年目。アブラギリが多い地域は客家が暮らす「客家の里」と重なることから、客家の名を冠している。今年、各客家委員会主催の大規模なイベントは、4月17日、苗栗市ヤングリラ楽園、同24日、新竹県神農園、森林リゾート村、同25日、桃園龍潭龍潭植物園、5月1日、桃園大溪花海農場などで行われる。

台湾観光局の2010年のスローガンは「旅行台湾・感動100」。何度訪れても新たな発見と感動と出逢える台湾の旅をコンセプトに外国人旅行者の誘致拡大を目指す。台湾を訪れる日本人旅行者は年間100万人を超えている。日本では多くの台湾旅行商品が造成され、多くのリピーターがいるが、まだまだ未開拓のスポット、手付かずのプログラムもある。今回は、台中市、苗栗県三義の魅力を特集。加えて、台湾観光の注目スポットを紹介する。

台湾観光局 http://jp.taiwan.net.tw 台湾観光協会 東京事務所 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目5-8川手ビル3F 電話03・3501・3591 FAX03・3501・3586 大阪事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4-14-3-6F 電話06・6316・7491 FAX06・6316・7398

観光トピックス

4〜6月に保生文化祭

床の時代の名医、保生大帝をまつた保安宮(台北市)は、健康や長寿に利益があるとされる寺だ。台湾の人々の信仰が篤く、無病息災を祈る姿がみられる。寺廟の建築や装飾も美しい。保生大帝の誕生日にあたる旧暦3月15日に合わせ、保生文化祭という祭りが毎年開かれている。今年は4月18日〜6月13日の期間、祭礼のほか、パレードや芸能などカーニバルのような盛り上がりを見せ、観光資源としても注目だ。

台北花博、準備着々と

台北国際花博の博覧会(台北花博)が今年11月6日〜来年4月5日まで6カ月間、台北市で開かれる。花をテーマにした展示イベントで、国内外の観光客約600万人の来場を見込む。4つのエリアを中心とする会場の合計敷地面積は約92ヘクタールに達する。現在、会場となるエリアでは急ピッチに整備が進められている。展示会場は、圓山公園、美術公園、新生公園、大佳河濱公園の4エリア。花の展示はもとより、映像や音響を駆使して花の魅力を伝える新生公園エリアでは、緑地や建物の整備のほか、太陽光発電や川の水を利用した配水設備といった環境に配慮した設備の整備が進行中だ。花博会場は、MRTの淡水線、木柵内湖線に囲まれたエリア。民権西路、劍潭、松山機場の名駅から、また、会場外に設置される駐車場からは、会場行きシャトルバスが運行される予定。新ブランド「E-Passion」台湾旅行に特典を満載 エバー航空 台湾の航空会社、エバー航空は、オリジナルパッケージの新ブランド「E-Passion」を立ち上げた。4月から旅行代理店を通じて特典満載の旅行商品販売する。E-Passion限定の特典は、例えば、仙台発着の台湾4日間・5日間の商品(4〜9月)の場合、搭乗の優先チェックイン、預け荷物の重量超過無料(ラゲッジ10kgまで)や優先引き渡しなどのサービスを提供。フリープランでは16ホテルからの選択を可能にし、観光・食事付きのオプションプランも用意している。販売総代理店はオーパシーストラベル(☎03・3567・4101)。

台北国際花博の博覧会(台北花博)が今年11月6日〜来年4月5日まで6カ月間、台北市で開かれる。花をテーマにした展示イベントで、国内外の観光客約600万人の来場を見込む。4つのエリアを中心とする会場の合計敷地面積は約92ヘクタールに達する。現在、会場となるエリアでは急ピッチに整備が進められている。展示会場は、圓山公園、美術公園、新生公園、大佳河濱公園の4エリア。花の展示はもとより、映像や音響を駆使して花の魅力を伝える新生公園エリアでは、緑地や建物の整備のほか、太陽光発電や川の水を利用した配水設備といった環境に配慮した設備の整備が進行中だ。花博会場は、MRTの淡水線、木柵内湖線に囲まれたエリア。民権西路、劍潭、松山機場の名駅から、また、会場外に設置される駐車場からは、会場行きシャトルバスが運行される予定。新ブランド「E-Passion」台湾旅行に特典を満載 エバー航空 台湾の航空会社、エバー航空は、オリジナルパッケージの新ブランド「E-Passion」を立ち上げた。4月から旅行代理店を通じて特典満載の旅行商品販売する。E-Passion限定の特典は、例えば、仙台発着の台湾4日間・5日間の商品(4〜9月)の場合、搭乗の優先チェックイン、預け荷物の重量超過無料(ラゲッジ10kgまで)や優先引き渡しなどのサービスを提供。フリープランでは16ホテルからの選択を可能にし、観光・食事付きのオプションプランも用意している。販売総代理店はオーパシーストラベル(☎03・3567・4101)。